

【医療区分2：疾患・状態】

前回分科会以降11/7までに事務局に寄せられた意見	対応方針	修正した項目
<p>「<u>脊髄損傷</u>」を追加すべきとの意見があった。</p>	<p>「脊髄損傷」のケア時間を再検証したが、医療区分3、2いずれのレベルにもなかった。そのため、四肢麻痺の条件を追加して脊髄損傷のケア時間について検証したところ、医療区分2相当であったので、「脊髄損傷」（四肢麻痺がみられる状態）を追加した。</p>	<p>「脊髄損傷」（四肢麻痺がみられる状態） (追加)</p>
<p>「<u>肺気腫／慢性閉塞性肺疾患(COPD)</u>」の状態を規定する必要があるとの指摘があった。</p>	<p>鳥羽参考人の意見を踏まえ Hugh Jones V 度に該当する状態とした。 【Hugh Jones の定義】 I 度：健康人と同様の労作、坂や階段の昇降が可能。 II 度：健康人と同様の歩行はできるが、階段の昇降が健康人と同様でない。 III 度：健康人と同様の歩行はできないが、自分のペースなら歩ける（1.6 Km 以上） IV 度：休み休みでなければ歩けない。 V 度：身のまわりのことをするにも息切れがあり、外出はできない。</p>	<p>「肺気腫／慢性閉塞性肺疾患(COPD)」 (Hugh Jones V 度) (条件追加)</p>
<p>「<u>尿路感染症</u>」について状態を規定する必要があるとの指摘があった。</p>	<p>鳥羽参考人の意見を踏まえ、「発熱」、「細菌尿」、「白血球尿 (> 10/HPF)」の全てに該当する場合と規定した。</p>	<p>「尿路感染症」 (「発熱」、「細菌尿」、「白血球尿 (> 10/HPF)」の全てに該当する場合) (規定追加)</p>